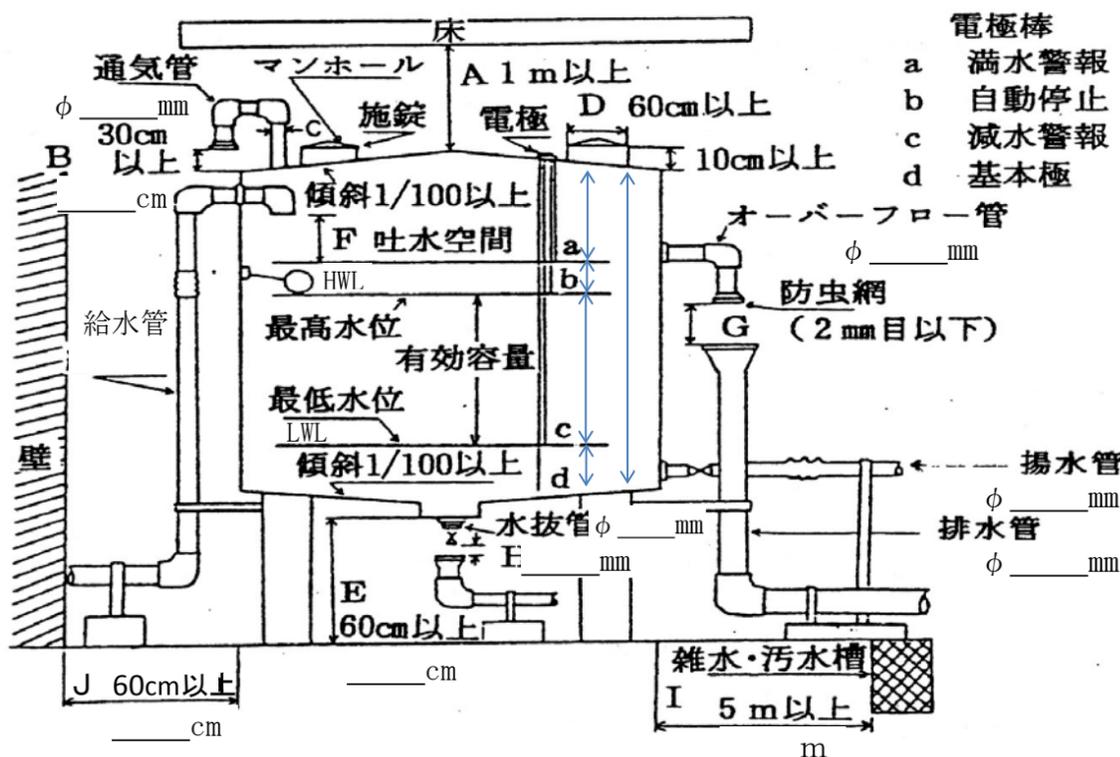


# 受水槽構造 チェック表 (施工基準P142~146参照)

設置場所:

施工基準	設備	規格	数値・記述	適・否	否の理由	目的
ア	マンホール	D: 径600mm以上	φ mm	適・否		清掃・点検等の維持管理用
		受水槽上面から10cm以上確保	cm	適・否		
a		鍵付	有・無	適・否		防犯対策
b		雨水等流入防止構造(密閉式・二重蓋構造等)	有・無	適・否		雨水等流入防止
c		振動・風圧によるズレ・隙間は生じない		適・否		
イ	受水槽上部にポンプ等の機器は設置しない。			適・否		破損・異物流入防止
ウ	排水設備	集水ピット、水抜管(φ mm)	有・無	適・否		清掃・点検用
		受水槽底面の勾配1/100以上	有・無	適・否		
		排水口空間 H: 水抜管口径(φ mm)の2倍以上	cm	適・否		
エ	吐水口空間:F	流入管口~最高水位(HWL)の寸法 警報内容: 高水位、低水位等	cm	適・否		逆流防止(旧施工基準P106)
オ・ソ	警報装置	ブザー・ランプを設置する。(ブザー・ランプ)	有・無	適・否		
		設置位置(管理室等)		適・否		
カ	溢流管(オーバーフロー)	口径: 給水管口径(φ mm)の1.5倍以上	mm	適・否		逆流防止
	(φ mm)	管端(流出側)は間接排水		適・否		逆流防止
		排水口空間 G: 溢流管口径(φ mm)の2倍以上	cm	適・否		逆流防止
(キ)	通気管(通気装置)	B: 管端(外部)の受水槽上部との離隔30cm以上	cm	適・否		
	(φ mm) ※有効2m <sup>3</sup> 以上の場合に設置	C: 揚水管(φ mm)の1/2以上の有効断面積		適・否		
ク	防虫網 溢流管(オーバーフロー)	管端開口部 #2mm目以下	有・無	適・否		異物混入防止
	" 通気装置(通気管)	管端開口部 #2mm目以下	有・無	適・否		異物混入防止
(ケ)	2層式 or 1層2分割	※有効10m <sup>3</sup> 以下の場合、不要	要・不要	適・否		維持管理
コ	流入口と給水口は対称的な位置とする。			適・否		滞留、停滞水防止
サ	満水位位置(b)の変更が可能か?		可・不可	適・否		使用水量少量時の水質確保
シ	直圧の給水栓設置	受水槽流入より上流側で分岐	有・無	適・否		給水状態、水質の確認用
ス	非常用給水栓	受水槽下部	有・無	適・否		災害時・非常時用
(セ)	塩素注入設備	残留塩素量が法令値以下になる恐れがある場合	要・不要	適・否		
タ	足場金具(梯子)	受水槽の内・外	有・無	適・否		
チ	防波板		有・無	適・否		流入による水面の波立ち防止
<b>受水槽の設置位置</b>						
A	上部床面との離隔 ※ 地下に設置の場合	1m以上		適・否		
I	汚水槽等との離隔	5m以上		適・否		
J	壁との離隔	60cm以上		適・否		

## 受水槽廻りの標準図例



## 受水槽寸法

縦		
横		
高さ		

## 受水槽有効容量

縦		
横		
高さ		
容量		